

令和6年8月

魚津市定例記者会見



日時：令和6年7月30日(火) 午後1時30分～午後2時10分

場所：市役所 第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞

NHK 富山放送局、NICE-TV

市当局出席者：市長、情報広報課長

【市長からの発表事項】

1. 「第55回じゃんとこい魚津まつり」の開催

(商工観光課)

今年はコロナ前のスケジュールに戻ります。8月のこの週末は経田七夕まつりを含めて、4日間の、いわばフルバージョンの開催となっています。まず、たてもん協力隊の申込みは2日間合わせて、延べ197人ということで、目標までにはいってませんが、コロナのときに大分落ち込みましたので、徐々に戻りつつあると思います。UO ジャズは今年で7回目を数えます。能登半島地震もあったということで、魚津のちょうど対岸が能登半島になるということで、復興を祈りながら、外に向けての祈りを込めたジャズフェスということになります。今年も、株式会社桑山様から全面的に協賛をいただいて、実施をするものであります。

せり込み蝶六は元の通り日曜日の夕方に開催を戻しまして実施をします。今回、麒麟ビール株式会社様のご支援で、海上花火大会が、麒麟ビールさんが行っている風物詩の保全、継承に関わる取り組みの対象に選定をいただきご寄附をいただけるということになりました。ぜひ、にぎやかな楽しいお祭りになればなというふうに思っておりますので、我々の方も、しっかり安全面含めて準備をしていきたいというふうに思っております。

2. 「第55回じゃんとこい魚津まつり」における台湾関係者との交流

(商工観光課)

市インバウンド推進実行委員会では、新北市板橋区(しんぺいし ばんちゃおく)・苗栗県(みあおりーけん)の2自治体と交流・提携事業を進めているところです。

3月に台湾を訪問しましたが、現在、交流事業の今後の進め方について、話し合いをしているところであります。その中で、郷土芸能を通じた交流ということで、魚津まつり

に、この両自治体の関係者の方にご招待の案内を出しました。3月に行った際いただいた提灯が30個ありますので、諏訪神社の境内などで市民の方にもまたご覧いただこうというふうに思っています。

3. 魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト 親子体験会 (農林水産課)

8月は果物コースでの体験会を予定しております。ぶどう園は緑だったり赤だったり、とてもカラフルで綺麗であります。私も何回か行ったことがあります。ぜひ、魚津の誇る生食のおいしいぶどうの収穫体験をしていただければなというふうに思います。

4. 第39回井原市友好親善都市児童交流事業 (生涯学習・スポーツ課)

岡山県の井原市とは、昭和58年に友好親善都市の協定を結んでいるわけですが、以来、この事業の交流事業を実施をしてきており、今回で39回目となります。今年度は、井原市から魚津市に児童20名が訪問をされるという予定になっています。この間コロナなどもありまして、井原からの子供たちが来ていただけるのは5年ぶりということになります。ライオンズクラブさんも、この井原との交流事業には一緒にご協力をいただいて共催という形になっています。各施設の訪問などを通して、子供たちの交流を深めてもらおうと思っています。

5. 北海道東川町児童交流事業 (生涯学習・スポーツ課)

今年は魚津市から東川町へ市内児童が訪問します。東川町には、越中踊り子供保存会というものがあります。東川第二小学校や地域住民の有志で組織される越中踊り子供保存会です。この東川第二小学校という校区は、明治30年ごろに、魚津市からの開拓団が多数行かれた場所です。そういった歴史的な背景があって、この東川の方では、この保存会を作って、そのおじいちゃん、その親から踊り継がれてきたものを子供たちが引き継いでいっておられます。そういった中で東川との方の交流が始まりました。魚津から東川の方に子供が行くのは、平成25年の夏以来のことになろうかなというふうに思っています。

6. 「高橋まゆみ人形展 一こころの原風景」 (生涯学習・スポーツ課)

魚津市と長野県の飯山は、平成24年の12月の末ごろでしたけれども、観光交流協定そして災害時の相互応援協定を結んでおります。観光イベントですとか、〇〇うおづなどの機会に、飯山とはいろいろ交流をやっていきますけれども、今回初めて、飯山市にある高橋まゆみ人形館の所蔵作品の展覧会を魚津で開催をさせていただくことになりました。

オープニングイベントとして、初日の8月31日の午前11時から、ギャラリートーク&サイン会でありますけれど、高橋さんがいらっしゃいます。

そちらの方で、作品の解説なりお話をいただいて、サイン会もやっていこうということに予定をしております。会場はそんなに広くはない場所かもしれませんが、今回約35点の人形をお持ちいただけるということで、市民の皆さんにぜひご覧いただいて、楽しんでいただこうというふうに思っております。

7. TJAR (トランスジャパンアルプスレース) 2024

(生涯学習・スポーツ課)

今回は第12回目の開催になります。(日程等の説明) 去年は確か4日と10時間ぐらいの新記録での優勝者が出たわけですけど今回どんなペースなのか、また楽しみにしております。

8. 東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラム

(地域協働課)

これは県の事業であります。富山県の方で、東京大学のかつ、体験活動プログラムなどの枠組みを活用いたしまして、中山間地域に学生を受け入れて、現地での体験活動を通して、地域活性化に向けた提言案なりそういったものをしていただくという取組です。8月に松倉地区に入って、地区内の状況を知ってもらう活動になります。

11月には2回目の活動が予定されていて、こちらの方は、現状、課題の把握ですとか、地域の皆さんとの意見交換などを積極的に進めていく、そんなことが予定されています。そして3月の上旬ですけれども、3回目の現地活動ということで、学生さんによる発表が予定されています。地元の自治振興会の皆さんなどとも協力をして、しっかりと話し合いなり、関係づくりを進めていければなというふうに思っています。

9. 関係人口創出・拡大事業 自由研究ワーケーション

(地域協働課)

関係人口創出拡大事業で自由研究ワーケーションとありますけど、2本あります。夏休み期間を利用したワーケーションの支援活動ですけれども、まず、埋没林博物館では、金山坑道の体験、或いは化学実験を予定しています。そして、水族館のテーマは虫であります。川や池での生物植物採取標本づくりなどを、体験をしていただくというふうに思っています。それぞれ学芸員がアテンドして、子供たちの疑問などにも十分答えていくという体制をとりたいというふうに思っています。

10. ミラたん健康ポイント2024

(健康センター)

市民の健康づくりを目的とした取り組みとして、検診をまず受診をしてもらって、それぞれ目標を設定して取り組んでもらおうというミラたん健康ポイントという取り組みが今年で13年目を迎えます。昨年度からは、LINEを利用して事業に参加をできるというふうにもしたのですけれども、今年はさらに高齢者等によるライン、応募者数の増加を目指したいということでLINEの利用方法をわかりやすく、周知をしていきます。

(申込みの内容説明)

民間事業者の皆さんのご協力もいただいております。記念品を抽選でお渡しするという取り組みになります。LINEを活用したことによりまして、少し働き盛りの世代の参加も増えたようであります。

11. 100円空き家の取得者大募集！

(都市計画課)

100円空き家の取得者の募集を始めたいと思います。春から100円空き家バンクの取り組みについて準備を進めてきたわけですが、いよいよその1軒目の空き家について、取得者の募集をすることになりました。最終的に、どなたに売るかということは、所有者が面談をしまして、決めていきます。公募要件は、2名以上の方が居住をし、住所を移していただき、長く居住をする意思があることであります。そして適切に維持管理をしていただくということが前提になっております。ぜひマッチングをさせていければなというふうに思っています。

【質疑応答の内容】

○「パリオリンピックでの田中笑伊選手」について

《記者からの質問》

田中選手がトライを決めたことについて伺いたい。

《回答》(市長)

まず、魚津市にとって初のオリンピックでもありましたし、田中選手が実際に試合に出て、走る姿を見られるということを非常にうれしく思ったんですけど、さらにトライを決められたことは、本当に素晴らしいと思います。ありがとうございますというふうに言いたいと思います。今後、表敬訪問もあると聞いていますのでお忙しいとは思いますが、すばらしい活躍を本当にありがとう、おめでとうございませうというふうにお伝えしたいと思います。

○「100円空き家」について

《記者からの質問》

第1号、募集始まったが、改めて期待感や今後の展開に関して伺いたい。

《回答》(市長)

やはりまだ使える空き家が放置されることによって、町の元気がなくなっていくというふうなことが危惧されるわけです。我々とすれば、この100円空き家バンクを活用して、ぜひ住んでもらうといった取り組みを応援をしていきたいと思っています。もともとこの100円という設定が他になかなか例のない取組なので、もっともっと知ってもらって、もう100円で家をお渡しするから、長く使って欲しいという持ち主の方の気持ちと、ぜひこの魚津で暮らしていきたいという方の思いをマッチングさせることが、たくさんできればいいなというふうに思っています。